

# 地形に関するもの

## 鬼面山

《勢至堂》

勢至堂屋敷の南西の所、約二キロの山奥に鬼面山がある。高さは一、〇一〇メートルで長沼町で最も高い山である。この山は二つの峯より成り、南の峯は「トチブ」と呼んで天栄村と境している。北の峯に巨巖が出ており、それがあたかも鬼の面に似ているので、鬼面山の名がつけられた。

又石背山ともいわれ、石背郡、岩瀬郡の地名の起りだともいわれる。

昔より神聖な山といわれ、女が近づいたり汚したりすると早魃になるといわれた。

石城の浜の漁師達も鬼面山が見える所までしか漁に出ない。この山は不思議な山で近くの海よりは見えないが、遠くの海からは見えるという。それで、漁師達はもう鬼面山が見えたから戻ろうと言ったといわれる。

トチブの山の方には、神楽岩という大きな岩があつて、その所を御花畑と呼んでいる。高山性の草花が咲いているという。またこの山の各所に風穴や熊穴があり神秘的な山である。

この山の岩石は良質のため、山の西側は大掛りな採石場となっている。

(話者 柏木平藏)